サポート情報記事

テナントのアプリ カタログとサイト コレクションのアプリ カタログ: Vitextra アプリの展開先

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

2 つのカタログの概要 4

テナントのアプリ カタログ 5

サイト コレクションのアプリ カタログ 6

ライセンスと試用版 8

どちらのカタログを選ぶべきか 8

用語 9

概要

SharePoint Online 向けのすべての Vitextra 製品は、アプリ カタログにアップロードする必要がある **SharePoint** Framework パッケージ (**.sppkg**) として提供されます。SharePoint Online には 2 種類のカタログがあります。組織全体に提供する**テナントのアプリ カタログ**と、それぞれ 1 つのサイト コレクションに提供する**サイト コレクションのアプリ カタログ**です。どちらを選ぶかによって、誰がパッケージを展開できるか、Web パーツがどこに表示されるか、API アクセス許可と **Microsoft Teams** がどのように扱われるか、後で更新しなければならない場所がいくつになるかが決まります。

この記事では、Vitextra 製品の展開という観点から 2 つのカタログを比較し、推奨事項を示します。実際のアップロード手順は、KB10035. SharePoint Online に Vitextra 製品をインストールする方法で説明しています。

2 つのカタログの概要

	テナントのアプリ カタログ	サイト コレクションのアプリ カタログ
テナントあたりの数	1 つ (Multi-Geo テナントでは地理的な場所ごとに 1 つ)	任意の数、サイト コレクションごとに 1 つ
作成者	SharePoint 管理者、SharePoint 管理センターで	SharePoint 管理者、SharePoint Online 管理シェルで
パッケージをアップロードできるユーザー	**アプリ カタログ** サイトの所有者 (通常は SharePoint 管理者)	そのサイト コレクションのサイト コレクション管理者
Web パーツを使用できる場所	テナント内の任意のサイト	そのサイト コレクション内のみ
このアプリを有効にして、すべてのサイトに追加する (テナント全体への展開)	アプリを追加しなくても、すべてのサイトのツールボックスに Web パーツが表示される	そのサイト コレクションのサイトにのみ適用される

	テナントのアプリ カタログ	サイト コレクションのアプリ カタログ
API アクセス許可の要求 (**Microsoft Graph**、**Azure DevOps**)	**API アクセス** ページに表示され、テナント全体で承認される	テナントで既に承認されている必要がある
Teams に追加	利用可能	利用不可
更新	新しいパッケージを一度アップロードする	新しいパッケージを各サイト コレクションのアプリ カタログに個別にアップロードする
Vitextra ライセンス	テナントごとに 1 つのライセンス	同じライセンス: ライセンスはカタログに依存しない

テナントのアプリ カタログ

テナントのアプリ カタログは、SharePoint 管理者が SharePoint 管理センターの**その他の機能 → アプリ**から一度だけ作成する特別なサイト コレクションです。その**アプリの管理**ページで、パッケージのアップロード、有効化、更新、Teams への追加、削除を行います。

Vitextra パッケージをアップロードすると、**アプリを有効にする**パネルに**このアプリを有効にして、すべてのサイトに追加する**オプションが表示されます。すべての Vitextra 製品は、このテナント*全体*への*展開*をサポートしています。

- **選択した場合:** 製品の Web パーツが、テナント内のすべてのサイトの **Web パーツ** ツールボックスに直ちに表示されます。サイトの所有者がアプリをサイトに追加する必要はなく、製品は**サイト コンテンツ → 新規 → アプリ**に表示されません。
- **選択しなかった場合:** 製品は追加可能な状態になり、必要とする各サイトの所有者が**サイト コンテンツ → 新規 → アプリ** (またはアプリ ピッカーの**組織から**) から一度だけ追加します。Web パーツは、そのサイトのツールボックスにのみ表示されます。

この決定は最終的なものではありません。**アプリの管理**ページで後からパッケー

ジを選択し、**すべてのサイトに追加**または**新しいサイトへの追加を停止**を使用できます。

テナントのアプリ カタログからのみ利用できるものが 2 つあります。

- **API アクセス許可の要求。** Microsoft Graph を通じてデータを読み取る製品 (Employee Directory、Employee Details、Organizational Chart、Absence & Coverage、My Tasks、Password Vault) は必要なアクセス許可を宣言し、パッケージがここに展開されると、SharePoint は対応する要求を **API アクセス** ページに作成します。KB10360. SharePoint 管理センターで Vitextra ソリューションの Microsoft Graph API アクセス許可を承認する方法を参照してください。
- **Teams に追加。** Teams のアプリ カタログはテナント全体のものであるため、Vitextra Web パーツを Microsoft Teams のタブまたは個人用アプリとして発行できるのは、テナントのアプリ カタログからのみです。

ヒント

Vitextra 製品では、**このアプリを有効にして、すべてのサイトに追加する**を選択してください。Web パーツはすべての場所で一度に利用可能になり、ページに配置するかどうかは各サイトの所有者が決めます。誰かがページに追加するまで、Web パーツがサイト上の何かを変更することはありません。

サイト コレクションのアプリ カタログ

サイト コレクションのアプリ カタログは、通常のサイト コレクション内にある **SharePoint 用のアプリ** ライブラリです。SharePoint 管理者が、SharePoint Online 管理シェルを使用して特定のサイト コレクションに対して有効にします。

```
Connect-SPOService -Url https://contoso-admin.sharepoint.com
Add-SPOSiteCollectionAppCatalog -Site https://
contoso.sharepoint.com/sites/marketing
```

その後、そのサイト コレクションの**サイト コレクション管理者**は、テナントでのロールを持たなくても**サイト コンテンツ → SharePoint 用のアプリ**にパッケージをアップロードでき、そこに展開されたソリューションは、そのサイト コレクション内でのみ使用できます。テナントのアプリ カタログが既に存在している必要があります。存在しない場合、このコマンドレットは失敗します。



SharePoint 用のアプリ] ライブラリ

Vitextra 製品の展開で変わる点:

- **範囲。** Web パーツは、このサイト コレクションのサイトでのみ利用できます。ここで**このアプリを有効にして、すべてのサイトに追加する**を選択した場合、「すべてのサイト」は同じサイト コレクションのサイトを意味します。
- **API アクセス許可。** サイト コレクションのアプリ カタログは、**API アクセス**ページに要求を作成しません。Microsoft Graph のアクセス許可が必要な製品は、先にパッケージをテナントのアプリ カタログに展開して要求を承認し、その後にサイト コレクションのアプリ カタログを使用してください。付与はテナント全体に適用され、両方のコピーで共有されます。API アクセス許可のない製品 (List Filter Online、Smart Tiles、Quick Poll、QR Code Generator など) は、追加の手順なしでサイト コレクションのアプリ カタログから動作します。
- **Microsoft Teams。** **Teams に追加**は提供されません。製品を Teams で使用できるのは、テナントのアプリ カタログから展開した場合のみです。
- **更新。** 各サイト コレクションのアプリ カタログは個別に更新されます。テナントのアプリ カタログにアップロードした新しいバージョンは、サイト コレクションのカタログに展開されたパッケージには反映されず、その逆も同様です。
- **ガバナンス。** アプリ カタログを持つサイト コレクションの一覧は、テナントのアプリ カタログの `/Lists/SiteCollectionAppCatalogs` に保持されます。`Remove-SPOSiteCollectionAppCatalog` はサイト コレクションのアプリ カタログを無効にします。ライブラリは残りますが、その中のソリューションは動作しなくなります。

警告

サイト コレクションのアプリ カタログから展開されたソリューションも、ユーザーのブラウザーでそのユーザーのアクセス許可を使用して実行され、テナントが承認した任意の API を呼び出すことができます。範囲が狭いことで制限されるのは、*Web パーツを配置できる場所*であって、*アクセスできる対象*ではありません。サイト コレクションのアプリ カタログ向けのサードパーティ パッケージも、テナントのアプリ カタログ向けと同じように慎重に審査してください。

ライセンスと試用版

Vitextra のライセンスは、カタログ、サイト数、ユーザー数にかかわらず、**テナントごと**に発行されます。14 日間の無料試用は、製品がテナントに展開されて最初に開かれたときに自動的に開始され、ライセンスはテナント ID に割り当てられます。KB10206. Vitextra のライセンスとアカウント: ライセンスの購入と有効化を参照してください。同じ製品をテナントのアプリ カタログと 1 つ以上のサイト コレクションのアプリ カタログから展開する場合でも、必要なライセンスは 1 つです。

どちらのカタログを選ぶべきか

次の場合は**テナントのアプリ カタログを使用**してください。

- 製品がイントラネット全体または複数のサイト コレクションを対象としている (Employee Directory、Organizational Chart、ハブ サイトや部署のサイトの Smart Tiles)。
- 製品に Microsoft Graph のアクセス許可が必要である、または Microsoft Teams で使用する予定がある。
- 更新を 1 か所で行い、テナント内のバージョンを 1 つにしたい。

次の場合は**サイト コレクションのアプリ カタログを使用**してください。

- 部署やプロジェクト チームがパイロットを実施している、または組織の他の部門には提供しない製品を必要としている。
- ガバナンス規則により、個別の審査なしにテナント全体に展開することが認められておらず、展開をサイト コレクション管理者に委任したい。
- 製品に API アクセス許可が不要で、Teams でも使用しない。

ほとんどの Vitextra のお客様は、**このアプリを有効にして、すべてのサイトに追加する**を選択してテナントのアプリ カタログから展開し、サイト コレクションのアプリ カタログは、使用するとしてもパイロット用に限っています。

用語

Azure DevOps
Azure DevOps Services (旧称 Visual Studio Team Services) は、バージョン管理、要件管理、ビルドとリリースの自動化パイプライン、テスト機能を提供するクラウドベースの製品です。

Microsoft Graph
Microsoft Graph は、Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) と OAuth 2.0 で保護された REST API です。SharePoint、Outlook、OneDrive、Teams など、Microsoft 365 のデータやサービスにアクセスするための単一のエンドポイントを提供します。

Microsoft Teams
Microsoft Teams は、オンライン会議、ライブ イベント、ドキュメント共有の機能を備えた、ビジネス コミュニケーション向けのチャット ベースのコラボレーション プラットフォームです。

SharePoint
SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

SharePoint Online
SharePoint のクラウド版で、Microsoft 365 内の Web ベースのコラボレーション プラットフォームです。組織のデジタル情報、コンテンツ、ナレッジを保存、共有、管理するための幅広い機能を提供します。

Web パーツ
Web パーツは、SharePoint ページに配置される機能やコンテンツの主要な構成要素です。Web パーツの中には、Web パーツの構成や外観の変更など、カスタマイズをサポートするものがあります。

用語

アプリ カタログ

アプリ カタログは、SharePoint、Teams、その他の Microsoft 365 サービス向けのアプリを格納する特別な SharePoint サイトです。グローバル管理者または SharePoint 管理者は、AppSource マーケットプレース、カスタム開発アプリ、サード パーティ製アプリのアプリケーションを、組織の内部使用のためにアップロードして管理できます。テナントには、テナント レベルのアプリ カタログを 1 つだけ作成できます。個々のサイト コレクションには、サイト コレクション アプリ カタログを追加できます。

サイト

SharePoint サイトは、SharePoint プラットフォーム内の情報のコンテナーです。サイトには通常、ドキュメント ライブラリ、リスト、予定表、ディスカッション ボード、ワークフローなどの機能があり、チーム内または部門間でのコラボレーション、コミュニケーション、ドキュメント管理を促進します。サイトは、組織の特定のニーズやワークフローに合わせてカスタマイズおよび構成できます。